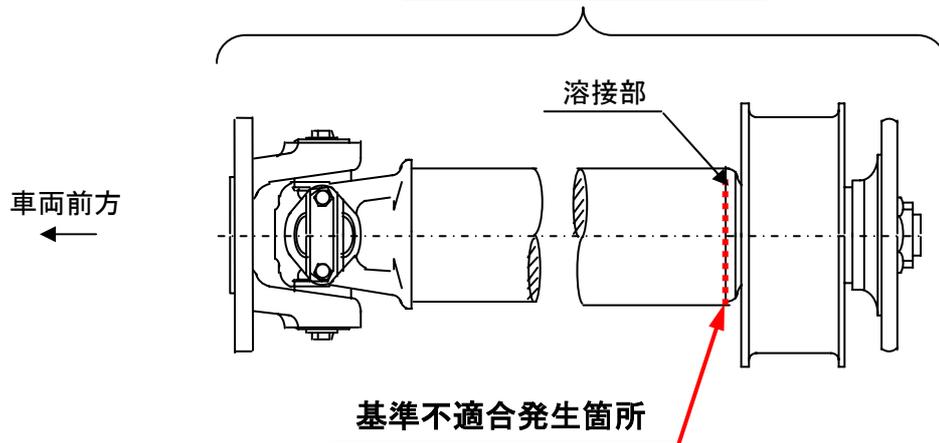


改善箇所説明図



プロペラシャフト一式



プロペラシャフトにおいて、製造工程による曲がり修正の方法が不適切なため、当該シャフトの強度が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該シャフトが折損して走行不能となるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、プロペラシャフト一式を良品と交換する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストライカー付近に「HD111」の文字が記載されたシールを貼付ける。恒久対策：白黄色